

ちょっぴり 暮らしが豊かに

まり、参加させていただきました。

穗高陶芸会館は大型農道よりわずか入った場所にもかかわらず、周囲の喧騒から逃れ、しつとりとした佇まいを感じる施設です。

芸を体験しました。

安曇野市に住んでいたながら、この会館を訪れたことがなかったのですが、

今回、会館主催の『陶芸体験でマイカップ』という、心魅かれる企画が目に止

陶芸は全く初めてでしたが、初心者に扱いやすい信楽の土が用意されていました。

手びねりによる作品づくりで、色は白と赤のうち好みの色を選びます。信楽の土はきめ細かい柔らかな（耳たぶほど）感触です。

500グラムの土を、カップとソーサーの分量に分け、カップ分の土を丸めて回転台の上に乗せます。まず中央を凹ませ、好みの高さまで立ち上げます。

一定の厚みを維持しながら好みの高さにするのは、なかなか難しく、上部ほど薄くなりがちで、フリルのように

小さくなってしまうそうで、仕上がり波打つてしまいます。
作品は焼き上がるとき15%ほど縮んで大きさを意識しながら制作しなくてはなりません。
ゆっくり作業していると、土の水分が少なくなっていくのが分かります。カップの縁にひび割れができ、少量の水で補修しながら、全体を滑らかな状態になります。

カップに好みの絵や模様を描き入れ、持ち手を付けて出来上がり。



▲味わい深い色に仕上がりました

作業はここまででしたが、これを1週間ほど乾燥させたあと、低温で素焼きし、釉薬をかけて再び窯に入れ、1240℃の高温で、12時間かけて焼き上げることです。

素材である赤土と白土、釉薬の色との組み合わせ次第では、90通り以上もの焼き色を楽しめます。

短い時間ではありましたが、土と無じ時間と共にできることは、生活でも心で向かい合い、これからも作品と同じ時間を共にできることは、生活にも潤いが増すことだと思います。

自分が作った器に、草花を生け、料理を盛り付けることができたら、またちがつた味わいを得ることができます。



▲水が打たれた穗高陶芸会館玄関前

山共建設・会報誌「ゆたか」 ■発行日：2022年9月5日 ■発行所：山共建設株式会社 ■発行人：降幡真 ■印刷所：株成進社印刷 電話／0263-331-1130

ゆたか

vol.14

発行日：2022年9月



山共建設 株式会社

—創業大正10年—

T399-8102
安曇野市三郷温 3350
TEL. 0263-77-3161
<https://www.yamakyo-k.com>
kentiku@yamakyo-k.com

Information

穗高陶芸会館 安曇野市穗高 8414-17
電話 0263-82-6750



▲定期的な手入れにより37年の経過を感じさせない蟻川邸

我が家は築三十七年になります。三十代の若かりし頃、敷地・予算の限られた範囲でマイホームを持つことができました。

豊科の教員住宅に住んでいた四十年前、私が育児休業中の頃、一軒先のお隣が新築工事に取り掛かっていました。毎日子どもと散歩しながらどんな家ができるのかしらと大変興味深く見せてもらっていました。

柱が立ち、一ヶ月・二ヶ月経過。

柱が雨で洗われ風で磨かれ、正に「雨洗風磨」…っていうの

間もなく屋根がつき間取りが見え、今まで見かけしたことのない風情のある佇まいを直感しました。

間もなく建築屋さんかお尋ねしました、「山

共建設です」とお

伺うことができました。三十歳を越したばかりの私はこの時、住宅への夢と憧れをもち「家をつくるなら山共建設！」と、大きな決断をしました。豊科から松本に越し土地を求める資金の見通しがついた頃、偶然にも書店でみた住宅誌に降幡建築事務所・山共建設の記事が掲載されていました。早速、高宮の降幡建築設計事務所を訪ね、漸く我家づくりの一歩がスタートしました。

設計士のKさんの案内で何軒かのお宅を見せていました。

棟梁のNさんは時折お話をしました。ある時、「今度の日曜日は、ソビエトのバレー・ボールの試合を見に行つて来ます」と。バレー・ボールが趣味ですかと伺いました。あとの出会いから五年目に工事着工となりました。

だきながら徐々にイメージが膨らみ設計図ができるようになりました。

その精神故に強い自負心が伺われました。

階段の上りには擬宝珠を取り付け下さり、鑿で丁寧に手彫りされていました。これが「この

こは蟻川家のシンボルになるのでね」と仰っていました。

正に「心の建築」でしょう。

棟梁のNさんは時折お話をしました。ある時、「今度の日曜日は、ソビエトのバレー・ボールの試合を見に行つて来ます」と。バレー・ボールが趣味ですかと伺いました。あとの出会いから五年目に工事着工となりました。

だきながら徐々にイメージが膨らみ設計図ができるようになりました。

その精神故に強い自負心が伺われました。

階段の上りには擬宝珠を取り付け下さり、鑿で丁

寧に手彫りされていました。これが「この

こは蟻川家のシンボルになるのでね」と仰っていました。

正に「心の建築」でしょう。

追記 山共建設会報誌「ゆたか」を毎号楽しみに読ませていただいております。

殊に古民家再生に関わるお話をいつも感銘しております。その

会報への寄稿依頼に辞退を申し上げましたが、若かりし頃の思い出を添えて私の拙文であります。

寄稿させていただきました。

追記 山共建設会報誌「ゆたか」を毎号楽しみに読ませていただいております。

殊に古民家再生に関わるお話をいつも感銘しております。その

会報への寄稿依頼に辞退を申し上げましたが、若かりし頃の思い出を添えて私の拙文であります。

寄稿させていただきました。

追記 山共建設会報誌「ゆたか」を毎号楽しみに読ませていただいております。

殊に古民家再生に関わるお話をいつも感銘しております。その

会報への寄稿依頼に辞退を申し上げましたが、若かりし頃の思い出を添えて私の拙文であります。

寄稿させていただきました。

こんなにも毎日に変化と刺激があり、楽しくてやりがいがある仕事は他にはないと思います。これまで先輩たちが築いてこられた古民家再生100年の歴史と伝統、信頼を大切に努力して参ります。どうぞご指導のほどよろしくお願ひ致します。

茅葺屋根の古民家で、時代を感じる柔らかなちりめんの人形が、おとぎ話の世界へ誘ってくれることと思います。皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

いのではと思うようになり、就職するなら、毎日に変化や刺激があり、やりがいを感じる仕事をしたないと考えるようになりました。小さい頃から時間をかけて一つのものを完成させることは、心行かしでした。

現場では、図面通り進めても時には問題が起き、解決方法を試行錯誤しながら考えます。

日々出来上がる建築物は、頼もしく美しいと思います。大勢の職人さんたちと汗して完成した建物は、感動と達成感が味わえます。

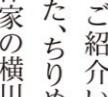
そんな日々の中、自分こよ二の職種は合つていな

マコトにサムライと書いて『ジョウジ』と読みます。とても気に入っている名前です。

新ノ社員紹介



本誌(2020年
10月発刊) vol.
11でもご紹介いた
しました、ちりめん
人形作家の横川照
子さんとその教室



Information

2022年10月27日(木)～10月30日(日)

ちりめん教室『野うさぎ』
縮緬細工 創作人形展

- 時 間 9:00～17:00(最終日15:00終了)
- 会 場 穂高北穂高408-1
安曇野高橋節郎記念美術館(主屋)
- 観覧料 200円(高校生以上)
- お問合せ
野うさぎ 主宰 横川 照子
電 話 090-3565-7298

寒い冬の備えはお早めに！短時間で取付完了

PR

寒い冬の備えはお早めに！短時間で取付完了

※状況により、お時間をいただく場合もございます

YKK
ap

窓額縁に
簡単取付け

かんたんマドリモ 内窓 プラマードU

取付け工事
一窓あたり
約60分

空気層で断熱

熱を伝えにくい
樹脂使用

ガラスでさらに
性能アップ

結露

暑さ・寒さ

騒音

寒さの原因のほとんどは「窓」

窓は、熱の出入りが一番多い場所。だから、窓の断熱が大切なのです。

窓からの熱の流入出比率

外気温26°C

50%

東京

(日平均外気最低日) (日平均外気最高日)

74%

冬 夏

茎温20°C 茎温27°C

外気温34.8°C

10年間の冷暖房費もこんなにお得

Before	After
131,000円	137,000円
624,000円	404,000円
755,000円	512,000円
冷房費	暖房費
28%ダウン	32%ダウン
※21万円お得	※24万円お得
アルミサッシ(単板ガラス)+P窓(Low-E ニュートラル)	アルミサッシ(単板ガラス)+内窓(Low-E ニュートラル)+日よけ(アウターシェード)

ご質問ご相談など、お気軽にお問い合わせください。 電話0263-77-3161

kentiku@yamakyo-k.con

長野県建設業協会による建設業のイメージアップを図ることを目的とし、SBC（ラジオとの連携）で、建設業のやりがいや素晴らしさを直接アピールできる機会をいただきました。

弊社の土木、建築の現場監督3名が、「街を造る！ 守る！ 建設業のヒーローからのメッセージ」と題して、取材を受けました。（お題には、皆少し抵抗があるようでしたが）

第1回（全3回）放送終了後、毎日接している社員同士であっても、仕事に臨む姿勢、特に地域の皆様の協力を得ることを大切にしていることや休日の過ごし方など知られざる内容を聞くことができました。



▲放送に向けてアナウンサーとの打ち合わせ



▲放送に向けてアナウンサーとの打ち合わせ

建設業に携わる若手技能者の減少と高年齢化により、大幅な担い手不足となることが予想される

黒沢川の桜並木

R4年4月



SBCラジオ出演 建設業のイメージアップ図る

R4年6月～11月

また自身が監督し、完成させた工事現場を見ると、達成感を覚え、やりがいに繋がっていくのです。

皆さまのお知り合いに建設業に関心を持たれているかたがいらっしゃいましたら、ぜひお声がけください。

土木の工事は、一般業中、道路わきの落ち葉が堆積した土手に、真っ白でか弱い、まるで妖精のような花が咲いているのを見つけました。調べてみると「きのこ」ではなく、森林などの湿地に生える葉緑素を持たずに、他の生物に寄生して養分を得ているギンリュウソウという植物のようです。環境に適した生体その姿に、気持ちが癒される瞬間でした。



「ギンリュウソウ」別名 幽霊草（ゆうれいだけ）

 不動産の仲介・売買はお気軽に
山共建設までご相談ください
☎0263-77-3161 ✉kentiku@yamakyo-k.com